

具体的な評価項目の取組・達成状況

※１（ ）内の数字は関連するアンケートの番号

※２ ４と３の割合が８５％を超えたものをＡ、それ以下をＢと評価した。保護者、職員、児童の見解が異なるときは全体から判断した。

	評価項目	結果	詳細	総合判定
１ やさしく	（職・保）学校は、人に優しくすることができ子どもを育てようとしている。（１） （児）明るい気持ちで、友達と仲良く生活している。（１）	A	この項目は、職員、児童が高い評価である。学校生活が楽しい理由として「友達に会えるから」「休み時間に友達と遊べるから」「友達が優しいから」をあげている児童が多く、友達との良好な関係がうかがえる。しかし、友達から嫌なことを言われたり、されたりしている児童もいる。児童の様子をよく見ていくとともに、今後も友達との楽しい活動を積み重ねていく。	A
	（職・保）学校は、いじめのない学級・学校づくりに努めている。（８） （児）いじめをしないで友達に親切にしている。（８）	A	学校はいじめゼロ集会、いじめゼロ宣言や教育相談を積極的に行い、いじめをなくすように努めている。アンケートによる悩み相談を行い、保護者や、児童の悩みには早急に対応している。しかし、本年度も友達同士のトラブルが発生し、その都度指導を加えてきた。いじめに発展しないように、また、適切にいじめを認知し、積極的に対処していく。	
	（職・保）学校は、居心地の良い学級作りに努めている。（４）	A	全校的に欠席の児童は少なく、子どもたちは楽しく元気に登校している。その一方で、３０日以上欠席の児童が６名いる。（うち５名が長期帰国する外国籍）また、遅刻が多い児童もいる。不安なく楽しく登校できる環境を今後も整えていく。	
２ かしこく	（職・保）学校は、わかりやすい授業を行っている。（２） （児）よく考えて学習している。（２）	A	算数の少人数指導、理科専科による授業、毎月の月末テストの実施等、学力向上の取組を行っている。職員は、わかりやすい授業を今後も行うとともに、準備時間の確保や授業形態の工夫、習熟度を確保するための小テスト等の対策をとっていく必要がある。今年度は基礎学力定着のための補習授業（レベルアップタイム）を年７回実施した。	A
	（職・保）学校は、個に応じた細やかな指導・支援をしている。（６） （児）先生は、わかりやすく勉強を教えてくれる。（６）	A	今年度は、全ての学年で算数の時間に少人数担当が入り、少人数指導によるきめ細やかな指導を実施し、より理解しやすい環境を整えることができている。	
	（職）家庭学習にしっかりと取り組ませている。（７） （保）子どもは、家庭学習にしっかりと取り組んでいる。（７） （児）家庭学習をしっかりと行っている。（７）	B	学校では、家庭学習を充実させるため、各学年・学級で工夫した取組を行い、家庭学習の定着を図ってきた。しかし、保護者、児童ともにまだまだ不十分と考えており、学校としても、手立てを講じていく必要がある。	
３ たくましく	（職・保）学校は、体力向上に取り組んでいる。（３） （児）進んで体を鍛え、元気に過ごしている。（３）	B	体力の向上については、保護者も児童も昨年度より評価が上がった。縦割り班リレーや縦割り班遊び、体育委員会主催によるミニスポーツコンテストの成果といえる。しかし、他の項目に比べ肯定的意見は低い。今後は、正課体育の充実や休み時間の外遊びの奨励など体力・運動能力の向上を今年度以上に充実させていく。	A
	（職・保）学校は、けがや病気に対して、適切に対応している。（１０）	A	健康観察を適切に行い、児童の健康状態を把握する仕組がきちんと整っている。学期毎に身体計測を行い、児童の発達状態を的確に把握し、健康カードを作成して適切な指導を行っている。保健指導では、疾病予防のための方策（うがい・手洗い・マスク）の指導を行っている。学校で怪我をした場合や具合が悪く様子をみた場合には、保護者に必ず連絡し、様子を伝えている。	

4 開 か れ た 学 校	(職・保) 学校は、家庭への連絡や意思疎通を積極的に行っている。(13)	A	学校、学年便り等の配付物をデジタル配信と文書配付とを区別し、各家庭に情報がきちんと伝わるように心がけている。学校生活における児童の様子は、連絡帳や連絡メールなどで保護者に伝えている。	A
	(職・保) 学校は、保護者に対して丁寧に相談に応じている。(14)	A	報告、連絡、相談を徹底し、学校への要望には前向きに取り組めるよう努力している。相談、要求、苦情には、必ず原因があるものととらえ、保護者の要望には十分に答えるようにする。	
	(職)「父母と先生の会」の活動に積極的に関わっている。(15) (保)「父母と先生の会」の活動は、活発に行われている。(15)	A	本部役員、行事部、広報部、文化部、防犯部、学年委員が、それぞれの自治的な活動を積極的に行っており、受け継がれている。職員が積極的に関われる機会をつくる。	
	(職・保) 学校は保護者や地域と連携しようと努めている。(16)	A	日吉台地区の各区長をはじめ、地域のボランティアの方と連携して登下校の見守りや環境整備を行っている。授業参観や運動会などの行事に対しての保護者の参加人数も多く、休日の美化活動にも協力的である。保護者の評価は、高い結果だった。	A
5 安 心 ・ 安 全 な 学 校	(職・保) 学校は、安全のための対策をとっている。(11) (児) 安全な自転車の乗り方をし、交通ルールを守っている。(11)	A	定期的な安全指導、登校指導を実施している。また、下校時には父母と先生の会の活動による学区内パトロール等が盛んに行われている。 避難訓練や引き渡し訓練、集団下校を行い、非常時に備えている。	A
	(職・保) 学校は、学習環境を整えている。(9)	A	安全点検を励行し、破損箇所の修復を速やかに行っている。毎月施設点検を行っており、破損があれば直ちに修理にかかっている。 栽培委員と4年生を中心に花卉の栽培活動を積極的に行っており、常に花壇には花が咲いている。	
6 人 権 ・ 児 童 理 解	(職・保) 学校は、児童理解に努めている。(12) (児) 先生は、話をよく聞いてくれたり、相談にのってくれたりする。(12)	A	児童理解のための教育相談を学期に一回行い、悩みの解決や、いじめの早期発見、早期対応を心がけている。職員は、児童一人一人の個性を認め、理解するために努力している。 また、積極的にスクールカウンセラーにつなげ、連携をとっている。高学年において全員面談を実施した。	A
	(保・職) 学校は、子どもの人権を尊重して指導にあたっている。(5)	A	全職員で体罰、セクハラの防止に関する研修を深め、児童一人一人の人格を大切にすることに取り組んでいる。また、児童への指導の際の言葉遣いや態度に十分気をつけ、教師らしい公正・公平な態度で指導にあたっている。	